

点検商法（浄水器）

登場人物 良子（妻） 悪田（悪質業者）
横 ハマ子（消費生活センターの相談員）

ナレーター ここは横浜市のとある住宅街。良子さんがお茶を飲んでいると・・・
♪ピンポ～ン♪

良子 はーい。どなた？

悪田 こんにちは！ 水道局の方から来ました。

良子 はあ。

ナレーター 良子さんは「水道局の方」と聞いて、横浜市の水道局の局員が来たと思い、ドアを開けました。

悪田 この地区の水質検査をしています。お宅の水も調査させてください。もちろん無料です。

良子 はい・・・。

ナレーター 悪田は家に上がり込み、水をコップに入れました。何やら試薬を取り出しています。

悪田 人間の体は、成人で約60%が水分なんですよ。水はとっても大切なんです。さて、コップの水をチェックしてみましょう。あららら・・・。

良子 え？ どうしたんですか？

悪田 いや、すごいピンク色ですね。ここまですごいとは・・・。

良子 え？ なんですか？

悪田 こんな水を今まで飲んでいらして、お身体の方は大丈夫ですか？

良子 今のところ特に・・・

悪田 それはよかった。

良子 どうしたらいいんでしょう？

悪田 やはり浄水器を付けないとね。基本のキですよ。ちょうど今はキャンペーン中なので、かなりお安くお買い上げいただけますよ。

良子 おいくら？

悪田 これは特別な浄水器で、そんじょそこらでは売っていないものです。少々お高いのですが、今日は特別に半額にします。50万円のところを25万円で結構ですよ。

良子 それはちょっと……。すぐには決められないわ。

悪田 これを見てください。こちらの浄水器から取ったお水に試薬を入れてみますからね。
ほら。水はきれいなままです。有害物質が完全に除去されるんです。これを使えばもう安心ですよ。

良子 じゃあ、家族に相談します。

悪田 キャンペーン価格は今日ですよ。明日からは50万円になりますがよろしいですか？ 今日なら、カートリッジもおまけに付けましょう！

良子 あら、そう。じゃあ、契約しようかな。

悪田 ありがとうございます。はい、これが契約書ね。ここにサインしてね。

ナレーター こうして良子さんは誰にも相談せずに契約をしてしまいました。その夜、家族に相談して「必要ない！」と怒られ、困りはてた良子さんは、消費生活センターに相談することにしました。

♪ブルブル♪ ♪ブルブル♪

横ハマ子 はい。横浜市消費生活総合センターの横ハマコです。どうしましたか？

良子 実は、昨日、水道局の人が来て浄水器を買ったのですが・・・(かくかくしかじか)・・・

横ハマ子 水道局では浄水器を販売しませんよ。訪問販売で契約され、契約から 1 日しかたっていないので、大丈夫。クーリング・オフできますよ。すぐに手続きをしましょうね。ハガキを用意して、特定記録郵便で出しましょう。

良子 ハガキはどのように書いたらいいんですか？

横ハマ子 では、これから書いてみましょう。

ナレーター 良子さんは、相談員からのアドバイス通り、郵便局に行って特定記録郵便でハガキを出しました。契約して二日目だったので、無事にクーリング・オフができました。
無料点検を装い、キャンペーンと言って契約を急がせる手口が増えています。本当に必要なものかどうか、納得したうえで契約してくださいね。